

本町通り商店街エリア ウォークブル勉強会（第3回）

【開催概要】

- ・ 日 時：令和6年5月21日（火）19:00～20:30
- ・ 場 所：本町BASE（Web併用）
- ・ 内 容：①愛知県岡崎市の取組事例
②生活社会実験について（WS含む）
- ・ 参加者：約20名
地域住民、観光・商工関係者
まちづくりに興味関心のある方



愛知県岡崎市の取組事例

（講師：岡崎市まちづくり推進課 小林氏）

■取組事例

- ・ 2018年から道路空間や軒先活用を通じた街の使い方を検証する社会実験を実施
- ・ 継続的な道路空間活用に向けたルール決め（景観、沿道店舗からの協力金など）
- ・ 康生通り将来ビジョンの策定（2022年3月）、今あるものを最大限活かす、ソフトとハード両面の事業展開
- ・ オープンスペースをシェアすることで新たな担い手がチャレンジできる通りを目指し、ヨリミチ×コミチプロジェクトを実施

最小限の仕掛けで、店舗の賑わいが溢み出る通りの活用

建物内部を開いたり、人の活動を可視化することで、アイレベルの賑わいを創出します。

これまでの社会実験	＜活用場所＞	＜活用アイデア＞
<p>2018年～</p> <p>軒先活用</p> <p>実態内容 沿道店舗が本来の用途に合った空間に活用できる社会実験を実施し、賑わい創出に貢献した。</p>	<p>店内</p> <p>街に開く店内の仕掛け 店舗内から街へ開くことで、店舗の賑わいを可視化し、人目を惹きつけることができる。</p> <p>軒先</p> <p>モノを陳列する仕掛け 店舗の賑わいを可視化し、人目を惹きつけることができる。</p> <p>人の集う場となる仕掛け 店舗内から街へ開くことで、店舗の賑わいを可視化し、人目を惹きつけることができる。</p> <p>人が集う場となる仕掛け 賑わいを創出するための仕掛け。</p>	<p>最小限の仕掛けで、店舗の賑わいを可視化し、人目を惹きつけることができる。</p> <p>歩道</p> <p>歩道を活かす仕掛け 歩道を活かすことで、歩道の賑わいを可視化し、人目を惹きつけることができる。</p>
<p>2020年～</p> <p>歩道活用</p> <p>実態内容 歩道を活かすことで、歩道の賑わいを可視化し、人目を惹きつけることができる。</p>	<p>歩道</p> <p>歩道を活かす仕掛け 歩道を活かすことで、歩道の賑わいを可視化し、人目を惹きつけることができる。</p>	<p>歩道</p> <p>歩道を活かす仕掛け 歩道を活かすことで、歩道の賑わいを可視化し、人目を惹きつけることができる。</p>

康生通り将来ビジョンより抜粋

生活社会実験について

○内容

- ・ 生活社会実験の実施にあたり、各エリアでの歩道、軒先の活用範囲を共有
- ・ 本町通りの課題等について、参加者同士で意見交換を実施

◆ワークショップにおける主なご意見

（交通に関すること）

- ・ 通過交通が多く、時間帯によっては交通渋滞が発生している。
- ・ 駐車場マップや共有駐車場があると利用者にとって分かりやすい。

（店舗に関すること）

- ・ 屋台を製作して、空き店舗の利活用を促進する。
- ・ 来店者をまちなかへ誘導する仕掛けをつくる。
- ・ 本町通り商店街で「見る・食べる・遊ぶ・買う」ところの核となる店舗や施設を設定する。
- ・ 本とコーヒーなど、コラボショップの展開。

（全体に関すること）

- ・ 日陰の設置による暑さ対策。
- ・ アートを生かしたまちづくり。
- ・ 充電スポットやフリーWi-Fiの設置等、人が集まる空間づくり。
- ・ 統一的なデザインによるエリアの価値向上。